

令和4年度ワーク・ライフ・バランス推進事業所

従業員のワーク・ライフ・バランスの実現のため、職場環境の整備や男女共同参画推進に積極的に取り組んでいるとして、以下の4事業所が新たに認定されました。令和4年度現在、17社23事業所を認定しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

【認定期間：令和4年10月1日～令和7年9月30日】

- ◆株式会社武井工業所(栃木工場)
- ◆株式会社大昇工業
- ◆有限会社藤沼建設
- ◆吉栄工業株式会社



編集後記

編集委員 飯野文夫 / 松嶋淑恵 / 八木橋祐香子 / 小林優作

買う、使う、捨てる。生きていると必ずゴミが出ます。自分が出したゴミはどこへ行くのか、なぜ分別が必要なのか、少し考えてみませんか？

私はクリーンセンターへ見学に行きました。そこでゴミを最終的に処分するまでに多くの工程、人々が関わっていることを知り、驚きました。最後は手作業で危険な物を省いたり、空き缶の中から吸い殻を出したりしているそうです。なんと大変な作業でしょう！

家庭のゴミ出しも分別からゴミを移動する作業まで、多くの工程があります。皆さんの家庭では誰がこれらの作業をしていますか？男性の家事参加が進みましたが、まだまだ日本家庭では女性が担っている状況ではないでしょうか。

また、ゴミの分別には一人ひとりの意識と行動の積み重ねが大切です。例えば可燃ゴミの中にビンや缶などの不燃ゴミが混ざっていると投入口が詰まってしまう、焼却炉の火を消して詰まりを解消しなくてはなりません。再点火の費用も膨大な金額がかかり、余分なエネルギー負担も発生してしまいます。一人ひとりがゴミを分別すればその無駄を抑えることができます。

ゴミを捨てた後も安心安全な暮らしを維持するために、目に見えないところで沢山の人が尽力しています。普段の生活の中でゴミの分別を知ること、ゴミ出しの曜日を知ること、誰かだけ家事の負担が重いとわかったら、助け合っていくことでも、ジェンダー平等を達成する一歩になります。



ゴミについて考える

一人ひとりの行動が変わる

より良い未来へ!!

アンケートを募集します!

今回のシェアリングでは、ジェンダー平等について特集します。皆さんが思い浮かべる「ジェンダー」という言葉のイメージを教えてください。3月末までにアンケートにご回答いただいた先着30名様に粗品をプレゼントします。ご応募は、住所・氏名・ジェンダーのイメージを記入の上、右下の二次元コードからメールで送信するか、郵便、FAXで下記事務局までお送りください。いただいた回答は、個人情報を除き、シェアリングに掲載させていただくことがあります。

発行・事務局

下野市総合政策部市民協働推進課

〒329-0492 下野市笹原 26 番地 ☎0285-32-8887 📠0285-32-8606

✉shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp

企画・編集

下野市男女共同参画情報紙編集委員会



下野市男女共同参画情報紙

シェアリング

～わかちあい～

第29号
2023.2



下野市のホームページから「シェアリング」
バックナンバーがご覧いただけます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

タイトル由来 みんなが“わかちあう”大切さを持って、男女が協力しながら、男女共同参画社会をつくっていかれたらとの願いが込められています。



エスディーゼーズ

最近、よく耳にする SDGs ってどんな意味？

サステナブル

ディベロップメント

ゴールズ

SDGs : Sustainable Development Goals

日本語で「**持続可能な開発目標**」と言われています。簡単に言うと、地球に住み続けられるようによりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

2015年の国連サミットで2030年までに達成すべき17の目標が立てられました。環境・健康・貧困問題など、世界で起きているあらゆる問題の解決には、17の目標を達成する必要があります。

また、17の目標のうち、5番目には「**ジェンダー平等**」がかかげられています。SDGsに取り組むことで、だれもが自分らしく生きていける社会の実現につながります。

今回は、「カーボンニュートラル」や「食品ロス」の側面からSDGsや男女共同参画について、考えてみましょう。

◆17の目標



SDGs と不労収入 第1話



～カーボンニュートラル～

「カーボンニュートラル」とは、CO2などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取り組みのことで、排出量から森林などの吸収量を差し引いて、全体をゼロにすることを言います。カーボンニュートラルを達成するには、再生可能エネルギーの活用が重要です。

○バイオガス

愛知県では、生ゴミと汚泥を処理してバイオガスを作り、そこから水素を発生させ水素で走る車を公用車として使用しています。生ゴミ処理と汚泥処理を抑えることができ年間の費用が3億円削減できたそうです。一方でバイオガスから水素を作り燃料として年間3億円分の燃料が作り出されています。

○太陽光発電

環境のためのクリーンエネルギーとして太陽光発電システムがあります。自宅で太陽光パネルで得た電気を蓄電し、その電気を自宅で使い、余ったら電力会社に売る…まさに自然からいただいた、不労収入!この蓄電池から電気自動車に充電すればまさにカーボンニュートラル!ではないでしょうか。

温室効果ガス排出量の増加は気候変動の一因となり、その影響を受けた自然災害により、停電等で家事労働負担が増加するなど、生活にも大きく関わるものです。

私たちの生活では、これらの再生可能エネルギー技術を利用すれば光熱費の削減や停電時の備えにもなるため、多くの恩恵があることに気づきます。

皆さんの家庭においても、男女共同参画実現に向けた家事の固定的な性別役割分担意識の解消に合わせて、家庭でのカーボンニュートラルの取り組みについても話し合ってください。

サステナブル スーパーフード

「しもつかれ」



はじめまして。今号より編集委員になりました小林です。突然ですが、皆さんの家庭では誰が食事を作っていますか?私の家では主に母か姉が作っています。台所はお母さんの領域なんて言葉も耳にしますが、本当にそうなのでしょうか?

私は高校生の頃、しもつかれという栃木県の郷土料理の研究をしていました。しもつかれは、実はSDGsととても関わりの深い料理として注目されています。しもつかれに使われる主な材料は、鮭の頭・酒粕・大根・人参・油揚げです。鮭の頭や酒粕は普段は食べることの少ない食材だと思います。これは昔、食べるものが少なかった時代に正月料理の残り物を使ってしもつかれを作っていたためです。また「もったいない」の精神や、近所の人にお裾分けする「譲り合い」の文化は、SDGsの基本理念である「持続可能」と関連があり、近年注目され始めました。実際に2022年に文化庁の100年フードにも認定されました。



しかし、県内では苦手な人が多いのも事実です。以前、研究の一環で高校生約250名にアンケートを行ったところ、好きと答えた人は全体の約30%でした。私はもっと沢山のの人にしもつかれの素晴らしさを広めるために周囲の協力を得て、世界初のしもつかれ缶詰を発明しました。缶詰は、長期保存できるため、遠距離でも販売しやすく売れ残っても食品ロスになりにくく、プラスチックを使用しておらずリサイクルしやすいなどのメリットがあり、地球に優しい販売形態です。私は昨年高校を卒業し、現在は後輩達がしもつかれ缶詰作りに取り組んでいます。



左：しもつかれ缶詰
右：しもつかれ調理の様子

この研究の中で一番苦労したのが材料の大根と人参を「鬼おろし」という道具を使ってすりおろす作業です。鬼おろしはしもつかれ作りには欠かせない大切な作業です。しかし、鬼おろしで硬い大根をすりおろす作業は想像以上に大変な力仕事でした。私1人では必要な分をすりおろすことができず、クラスの皆に協力して貰いました。この話を家族としたところ、家でしもつかれを作る時は、祖父が鬼おろしで下準備をした後、祖母が調理をして、2人で協力してしもつかれを作り、普段家事をしている祖母の負担を減らしていることが分かりました。

私はこの話を聞き、日々の食事や家事においても家族で協力していくことで「お母さんが働きやすい社会」になっていくのではないかと考えました。料理が作れない人でも掃除や洗濯、ゴミ出しなどできることは沢山あります。皆さんも日々の生活を思い出し、お母さんのためにできることから始めませんか?



しもつかれウィーク

しもつかれ缶詰作りの時にお世話になった「しもつかれブランド会議」という団体が、毎年2月に「しもつかれウィーク」というイベントを行っています。(今年は2/5～2/11)栃木県を中心に様々なお店が参加し、しもつかれと関連した商品の販売や、しもつかれをインスパイアした展示、イベントなど、しもつかれの新たな一面を発見できる分散型イベントです。SDGsについて考えるきっかけにもなりますので、興味のある方は今後の活動に注目してみてください。